

N高等学校・S高等学校にて、 世界初の大規模 VR 教育がいよいよスタート

学校法人 角川ドワンゴ学園 N高等学校（以下、N高）とS高等学校（同S高）は4月7日（水）、令和三年度の入学式をVR空間内で執り行います。N高にとっては開校から数えて6回目、S高は初めての入学式となります。両校合わせた新入学生数は7,304名、N高とS高の合計生徒数は18,731名となる見込みです（2021年5月1日予定）。

N高・S高は2021年4月より、新たな取り組みとして、VR技術を活用した「普通科プレミアム」を開始します。これまでの映像授業に加えて、VR空間でも授業を受けられるようになります。VR空間では仲間の存在を感じながら、ともに切磋琢磨し、より集中して学ぶことができます。

さらに、オンライン授業の弱点でもあった、コミュニケーション力をつけるための学習もVR技術を使うことでより強化できます。VR空間で各地の生徒とワークショップをおこなったり、英会話や面接などの練習もできます。VR技術により、今まで以上に学びの可能性が広がります。

VR空間内の象徴的な学び舎「学びの塔」は、建築家の隈研吾さんに設計をしていただきました。



隈研吾氏が設計したVR空間の校舎「学びの塔」

普通科プレミアムを受ける生徒は約4,000名。新入生の約4割が、普通科プレミアムを選択しています。履修可能な授業6,984本のうち、VR空間で履修できるのは2,341本となり、全体の33.5%がVRに対応しています（2021年4月1日時点）。今後もVR対応を進めていき、2021年度内には過半数の授業がVR空間内で履修できるようになる予定です。世界でも類を見ない、世界初^{*1}の大規模VR教育が本日、始まります。

今後も角川ドワンゴ学園はテクノロジーを活用し、新しい教育を創造し続けてまいります。

*1 高等学校における定常的な授業での規模として

◆学校法人角川ドワンゴ学園 N高等学校、S高等学校について◆

<N高等学校 本校：沖縄県うるま市、校長：奥平博一 / S高等学校 本校：茨城県つくば市、校長：吉村総一郎>

N高等学校、S高等学校はインターネットと通信制高校の制度を活用した“ネットの高校”で、現在の生徒数は両校合わせて18,731名（2021年5月1日予定）。「IT×グローバル社会を生き抜く“総合力”を身につける多様なスキルと多様な体験」を掲げ、今のネット社会に合った新しい教育を実践しています。授業やレポート提出をネットで行うことで自分のペースで学べる高校卒業資格のための必修授業の他に、大学受験やプログラミング、小説、ゲーム、ファッション、料理、美容など多彩なネットでの課外授業や、全国各地で行う職業体験により、社会で役立つスキルや経験も高校時代に身につけられるカリキュラムが特徴です。ネットコース、通学コース、オンライン通学コース、通学プログラミングコースの4つのコースから選択できます。また、学び方についても、日々の学習をVR学習と映像学習で行う「普通科プレミアム」と、映像学習のみで行う「普通科スタンダード」を選択できます。関連スクールには教育機会確保法に基づくN中等部、小中学生向け実践的プログラミングスクールのN Code Laboなどがあります。

<公式サイト> <https://nnn.ed.jp/> <公式Twitter> https://twitter.com/nhigh_info